

町制施行20周年記念

議会のあゆみ



美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ



現議事堂



旧議事堂



北谷町役場 庁舎



北谷町役場 旧庁舎

町章



北と谷を組合わせ、大地を飛び立ち飛鳥のイメージに図案化して北谷町を象徴する。

円は、町民の融和を、飛鳥は、町の発展を意味する。

(昭和48年3月31日制定)

町民憲章

北谷町民憲章

古えの人々が夢見た海の彼方の理想郷 ニライ・カナイ。

古え人のこのロマンを、わたくしたちは現代の北谷町に花開かせ、「ニライの^{まち}都市・北谷」としてこれからのまちづくりに励んで行きましょう。

わたくしたちは、国際性豊かな北谷町民として自覚と誇りを持ち、次のことを町民憲章に定め、実践していきます。

1. わたくしたちは、自然を愛し、健康で心のふれあうまちをつくります。
1. わたくしたちは、教養を深め、文化のかおり高いまちをつくります。
1. わたくしたちは、仕事に励み、活気に満ちたまちをつくります。
1. わたくしたちは、お互いを尊重し、民主的で平和なまちをつくります。
1. わたくしたちは、視野を広め、個性豊かなまちをつくります。

(昭和58年4月1日制定)

北谷町の歌

北谷町の歌

Musical score for 'Kitayama no Uta' in G major, 3/4 time. The score consists of five staves of music with lyrics underneath. Chords are indicated above the notes.

ひがし しまかい ひろびろ と 潮かぜ
 寄せる みどりの に 平和の 息吹き
 たたえつ つ つたえもー ゆかしー 地をひーら
 きあすにのび ゆくわー がーまちよあー
 ふるさと の ちゃ たー んちよ う

作詞 野中常雄
 補作 北谷町歌音頭選定委員会
 作曲 普久原恒勇
 編曲 前田俊明

北谷音頭

北谷音頭

Musical score for 'Kitayama Onodoko' in C major, 2/4 time. The score consists of four staves of music with lyrics underneath. Chords are indicated above the notes.

そらに太陽 明るくもえて 吹くはやさしい みなみ風
 ゆめの ーなんごく とこーなつ におう
 あかいデイゴが もえて咲いてる サーユイヤサッサてびょうし そろえ
 ちやたん 音頭で みな おど ろう

作詞 南英市
 補作 北谷町歌音頭選定委員会
 作曲 普久原恒勇
 編曲 前田俊明

北谷町の歌

- 東シナ海 ^{ひろびろ} 洋々と
 潮風寄せる ^{みどりの} 緑野に
 平和の息吹き たたえつつ
 伝えもゆかし 地をひらき
 あすに伸びゆく わが街よ
 あゝ ふるさとの北谷町
- 大川城 ^{くすく} 眺めよく
 歴史は ^{かお} 薫る 長老の
 遺跡に偲び とこしえに
 文化を育ぐみ はつらつと
 あすに伸びゆく わが街よ
 あゝ ふるさとの北谷町
- 四季をいろどる 自然美に
 豊かなこころ ふれあいて
 育ぐむ産業 ふくいくと
 理想の自治を 築きつつ
 あすに伸びゆく わが街よ
 あゝ ふるさとの北谷町

北谷音頭

- 空に太陽 明るく燃えて
 吹くは優しい南風
 夢の南国 常夏匂う
 赤いデイゴが 燃えて咲いてる
 サーユイヤサッサ 手拍子そろえ
 北谷音頭で みな踊ろう
- 東シナ海 飛沫も晴れて
 波に夕日が 散らし紅
 三味や太鼓に 口笛鳴らし
 町に自慢の踊るエイサー
 ハヤシ.....
- 古い昔の 歴史を秘めて
 大川城 城のあと
 禪師ゆかりの 長老まつり
 そぞろ歩きも 行き交う人も
 ハヤシ.....
- 町は栄える 未来へ掛けて
 励む希望の 歌がわく
 平和の香り 歓び溢れ
 老いも若きも みんな輪になりゃ
 ハヤシ.....

町のシンボル

町 花



フィリソシンカ

町 木



センダン

推奨する木



リュウキュウコクタン



カイヅカイブキ

目 次

町章・町民憲章

北谷町の歌・北谷音頭

町花・町木・推奨する木

発刊の言葉

発刊を祝して

歴代議長

歴代町長

歴代議員

第1章 町勢の概要

沿革と概況	29
位置・地勢・気象	31

第2章 議会のあゆみ

1. 議案等処理状況（昭和48年4月～平成13年3月）	37
2. 歴代正副議長	189
3. 歴代議員名簿（第7代村議会議員～第6代町議会議員）	193
4. 歴代三役	203
5. 特別委員会の設置状況	207
6. 意見書・決議	215
7. 議員・事務局長時代の思い出	257
8. 表彰	273

第3章 町議会の現況

1. 議会構成	283
2. 議員紹介	284
3. 議会活動	287

第4章 資料編

1. 議会関係例規集	311
2. 議会運営申し合わせ事項	343
3. 議会活性化方策	353

4. 議会だより	361
5. 議員スポーツ大会	369
6. 歴代議会事務局職員	373
7. スナップ写真	377
8. 各種選挙状況	383
議会議員選挙 (昭和49年9月～平成10年9月)	383
村(町)長選挙 (昭和44年11月～平成9年11月)	393
9. 町勢関係	396
北谷町機構図	396
世帯人口表	398
人口の推移	399
一般会計決算の推移	400
財政指数等の状況	405
10. 歴史年表	417

あとがき

凡 例

1. 「議会のあゆみ」は、昭和48年5月に発刊された「議会名鑑」の続編として昭和48年以降を収録した。歴代正副議長、歴代三役は初代から掲載した。
2. 本誌の構成は、第1章町勢の概要、第2章議会のあゆみ、第3章町議会の現況、第4章資料編とした。
3. 記録は、本土復帰後の昭和48年4月から平成13年3月定例会まで収録した。意見書・決議については、主たるものを抜粋し収録した。
4. この「議会のあゆみ」の編集にあたって参考にした資料は次のとおりで関係各位に深く謝意を表します。

北谷町町史編集資料

北谷町町勢要覧

伊是名村議会史

北谷町選挙管理委員会資料



発刊の言葉

北谷町議会

議長 與那覇 政 保

本土復帰直後の昭和48年5月15日に北谷村議会戦後25年総合版として「北谷村議会名鑑」が発刊され、貴重な議会資料として活用されてまいりました。

このたび北谷町議会におきましては、「北谷村議会名鑑」の続編として、町制施行20周年を記念して「議会のあゆみ」を発刊し、本土復帰から今日までの町の発展の経過を後世に伝えるとともに、今後のまちづくりに資するものであります。

顧みますと、北谷町では急速な都市化の波に対処すべく、新しいまちづくりを推進する中で、米軍用地跡地利用、公共施設の建設など幾多の混迷と激動の歴史がありました。

しかしながら、困難な諸問題を克服し内外の注目を集める都市へと変遷し、今日の隆盛の礎を築いていくことができましたことは、歴代の執行機関並びに議会のたゆまぬ努力と町民各位の献身的なご協力の賜であり、心から感謝の意を表するものであります。

これまで、町議会は町民福祉の向上のため、町民の声を町政に反映させようとの一念で熱誠を傾け、精魂を尽くしてまいりましたが、ときに執行部にとって手厳しい議論を戦わし、また議員同士の意見の相違による議場での紛糾も再三ありました。

このような関係各位の時勢の進展に即応したご努力によりまして、広大な米軍用地をかかえながらも、魅力ある豊かな都市づくりのために「アメリカンビレッジ」などの諸政策が着実に進められていることは、まことに喜ばしい次第であります。

昨今の厳しい社会経済環境の中で、キャンプ桑江返還跡地利用など今後の課題が山積してありますが、議会の役割を認識して諸問題の解決のために精魂を傾注する所存であります。

本町議会は町民の期待に応えるべく「開かれた議会」をめざし議員・職員とも一層の熱意と努力を払う決意であります。そのような中で、「議会のあゆみ」が発刊されますことは誠に意義深く喜びに絶えない次第であります。

本書が、町議会のあゆみを知る記録として、また、これからのまちづくりにご活用いただければ幸いと存じます。

終わりにになりましたが、本書の編集に際しましてご寄稿を提供いただきました歴代の議会議員をはじめ、町当局に対しまして心から感謝申し上げまして、発刊の言葉といたします。



発刊を祝して

北谷町長 辺土名 朝 一

「議会のあゆみ」の発刊を、心からお祝いを申し上げます。

本町は、去る大戦で米軍の上陸地となり文字どおり町土が焦土と化するとともに、昭和47年までの27年間に亘り米軍の統治化にあり、沖縄戦による行政文書の焼失、戦後の米軍異民族支配、昭和47年の祖国復帰等大きな行政の変遷がありました。

本町は、今日まで行政が大きく変遷する中において、そのたびごとに議員諸先輩方をはじめ町民皆様方の一丸となったたゆまぬご努力とご苦勞により、現在においては各面において目覚ましい発展を遂げています。議会並びに議会関係者の皆様方のご尽力に対し、深く敬意を表するものであります。

21世紀を迎えた今日、地方自治を取りまく環境は、社会経済情勢の急激な変化とともに、国際化や高度情報化が急速に進み、また、少子高齢化のより一層の進展、地方分権への対応等新たな時代を迎えております。このような中行政は、なお一層きめ細かな施策が求められております。また、本町独自の行政課題も多く、審議機関である町議会の果たすべき役割は、今後ますます大きなものと存じます。

このような時期において、本町の議会活動を正しく後世に伝える議会のあゆみを記録した本書を発刊されますことは、誠に意義あるものであると存じます。

終わりに、「議会のあゆみ」の発刊にあたられました関係各位のこれまでのご努力とご尽力に対しまして敬意を表するとともに、北谷町議会の限りない発展を祈念申しあげ、発刊に寄せるお祝いの言葉といたします。



発刊を祝して

沖縄県町村議会議長会
会 長 吳 屋 哲 夫

この度、北谷町議会におかれまして、北谷町町制施行20周年を記念して「議会のあゆみ」を発刊されますことに対し、誠に意義深いことと心からお祝い申し上げます。

我が沖縄県は、戦前の明治憲法下、戦後の米国統治下、そして祖国復帰後の時代と他府県では例を見ない歴史をたどって来ました。去る大戦では文字どおり県土が灰燼に帰し、特に米軍の上陸地となった北谷町は、全町を米軍基地に占領され、山間谷間に住居を構えてのまちづくりは、戦場となった沖縄の悲惨な歴史そのものでありました。

戦後半世紀が過ぎた今日、廃墟の中から幾多の困難を乗り越え、郷土の復興と現在の活気あふれる町づくりのために、たゆまぬ努力を続けてきた先人の足跡を後世に正しく伝え、それを踏まえて未来を展望することは大きな意義があります。このような意味において、北谷町議会が昭和48年に終戦から祖国復帰までの議会のあゆみをしるした「議会名鑑」を発刊し、この度、その続編として、祖国復帰から今日までの議会の変遷と議員の活動を記録に残すことは誠に時宜にかなうものであります。

折りしも、地方分権が進展する中、住民に最も身近な存在である町村の新たな発展が期待され、議会の役割と責任が増大し、議会の活性化が求められています。

本県では、全ての町村議会が、住民に開かれた議会を目指して議会活性化の方策にそれぞれ工夫を凝らし、日夜頑張っているところでありますが、中でも、北谷町議会は、議会活性化の先駆者であり、県内外の議会関係者から高く評価されているところであります。北谷町議会が本誌発刊を契機としてさらに議会活動を充実され、地方自治の発展と住民福祉の向上に邁進されんことを心から祈念申し上げます。

最後に、本誌発刊に当たられました北谷町議会並びに関係各位のご努力とご労苦に対し深甚なる敬意を表し、併せて、北谷町のさらなる発展を祈念しお祝いの言葉と致します。

歴代村（町）議会議長

第六代・第七代・第九代村議長
第四代町議長



崎 浜 盛 栄

第八代村議長



高宮城 実 勝

第十代村議長
初代・第二代町議長



花 城 可 金

第三代町議長



辺土名 朝 一

第五代町議長



与 儀 朝 祺

第六代町議長



與那覇 政 保

歴代村（町）長

第十五代
第十六代村長



比 嘉 正 章

第十七代村長・初代町長
第二代・第三代・第四代町長



島 袋 雅 夫

第五代・第六代・七代町長



辺 土 名 朝 一

歴代村（町）議員

第七代村議会議員 昭和45年～昭和49年



崎 浜 盛 栄



幸 地 真 正



津嘉山 寛 長



辺土名 朝 一



津嘉山 次 郎



嶺 井 興 正



比 嘉 昌 信



比 嘉 友 情



喜友名 朝 孝



花城可金



高宮城実勝



伊礼正雄



稲嶺盛道



浜元盛行



与儀茂



渡慶次保

第八代村議会議員 昭和49年～昭和53年



高宮城 実 勝



比 嘉 昌 信



泉 朝 秀



翁 長 林 寛



目取眞 興 吉



照 屋 明 弘



大 城 文 信



嶺 井 興 正



辺土名 朝 一



比嘉友情



喜友名朝孝



宮平昌信



安里喜春



与儀茂



稻嶺盛道



宮里友三



津嘉山寛長



渡慶次保



花城可金



崎浜盛栄

第八代北谷村議会議員 3周年記念（昭和52年9月）



第九代村議会議員
初代北谷町議会議員

昭和53年～昭和57年



花城可金



辺土名朝一



泉朝秀



宮里友三



津嘉山寛長



崎浜盛栄



松島良光



与儀茂



目取眞興吉



嶺井興正



伊集守明



山川直助



照屋明弘



安里喜春



宮平昌信



比嘉昌信



渡慶次 保



比嘉友情



翁 長 林 寛



喜友名 朝 孝

第九代北谷村議会議員・初代町議会議員任期満了記念

(昭和57年9月27日)



第二代北谷町議会議員 昭和57年～昭和61年



花城可金



辺土名朝一



翁長林寛



宮平昌信



渡慶次保



宮里友三



安里喜春



泉朝秀



津嘉山繁



照屋明弘



照屋恒夫



山川直助



与儀朝祺



崎浜盛栄



比嘉友情



玉城政秀



稲嶺盛仁



松島良光



伊集守明



目取眞興吉

第二代北谷町議会議員任期満了記念（昭和61年9月27日）



第三代北谷町議会議員 昭和61年～平成2年



辺土名 朝 一



宮 里 友 三



安 里 喜 春



玉 城 政 秀



比 嘉 友 情



中 村 重 一



與那覇 政 保



松 島 良 光



照 屋 明 弘



新城 幸男



翁長 林寛



瑞慶覧 朝義



泉 朝秀



照屋 恒夫



与儀 朝祺



高宮城 實



比嘉 昌信



伊集 守明



稲嶺盛昌



崎浜盛栄

第三代北谷町議会議員就任記念（昭和61年9月29日）



第四代北谷町議会議員 平成2年～平成6年



崎 浜 盛 栄



泉 朝 秀



大 嶺 勇



玉 城 政 秀



比 嘉 友 情



中 村 重 一



與 那 霸 政 保



松 島 良 光



照 屋 明 弘



新城幸男



瑞慶覧朝義



大城信廣



稲嶺盛昌



照屋恒夫



与儀朝祺



宮平昌信



比嘉昌信



山川直助



宮里友三



辺土名朝一



田場健儀

第四代北谷町議会議員（平成3年12月17日）



第五代北谷町議会議員 平成6年～平成10年



与儀朝祺



與那覇政保



玉城政秀



安里順一



照屋宏



中村重一



稲嶺盛仁



宮里友常



新城幸男



知念良夫



大城信廣



仲村光徳



稲嶺盛昌



田場健儀



松島良光



伊集守明



比嘉昌信



金良初子



瑞慶覧 朝 義



照屋 恒 夫



泉 朝 秀



宮平 昌 信



洲 鎌 長 榮

第五代北谷町議会議員任期満了記念（平成10年9月27日）

